

第1問 答案用紙  
(経営学)

問題1

問1 ブランド拡張(戦略)

問2 内的参照

問3 EDLP

問4 リベート

問5 価格を上下させたとき、その製品の需要量がどれだけ左右されるかを示すもので、需要量の変化率を価格の変化率で割って求められる。

問題2

問1 組織文化

問2 コンティンジェンシー

問3 組織の慣性

問4 合併と買収

問5 個人と組織のビジョンに整合性をもたせ、情報共有の仕組みを見直す。

## 第2問 答案用紙<1> (経営学)

問題 1

問 1	小さい	大きい	+1	分散
	期待値	0	マーケット・ポートフォリオ	共分散

問 2

期待値	12	%	標準偏差	4.73	%
-----	----	---	------	------	---

問 3

×の記入欄    理由の記入欄

- イ：  CAPMの土台となる効率的ポートフォリオはリスク回避的な投資家のリスク選好を反映しているから。
- ロ：
- ハ：
- ニ：  資金貸借市場の需給の一致により借入利率と貸出利率が同じになるという前提がなければCAPMの線形性は保たれないため。

問 4

提唱者名：                      トービン	定理の名前：                      分離定理
---------------------------------	----------------------------------

問 5

×の記入欄    理由の記入欄

- イ：  はシステムティック・リスクを表す。それが大きくても個別リスク(アンシステムティック・リスク)が同時に大きいとは限らないから。
- ロ：  十分な分散投資によって小さくなるのはアンシステムティック・リスクであり、システムティック・リスクは分散消去できないリスクであるから。
- ハ：
- ニ：  近似的に0になるのであって、ちょうど0の値になるという意味でないから。

## 第 2 問 答 案 用 紙 < 2 > ( 経 営 学 )

問題 2

問 1

	51,846	百万円
	398,323	百万円
内部留保(または利益剰余金)	92,929(又は15,691)	百万円
増資(または資本金と資本準備金)	200,134	百万円
	1.07	回
	136	%
	62	%
	5.51	倍
	1.16	ヶ月
	4.28	ヶ月
	237.70	円
	19.35	倍
	1.02	倍

問題 3

問 1

0.48(又は0.52)	0.52(又は が0.52の場合0.48)
900	0
400	600
10	50
12.5	112.5

問 2

0	万円	- 600	万円
700	万円	600	万円
40	万円		